

塩治 地区

社会福祉協議会便り

編集・発行 塩治地区社会福祉協議会 事務所 塩治コミュニティセンター内 TEL 21-0248
塩治社協ホームページ <https://enyashakyo.skr.jp/>



社協ホームページ

日本文化体験の集い

今年もみんなでカレーパーティー！



青少年育成部では、学童クラブの子どもたちを対象に、野菜づくりを通じて、収穫の喜びや食糧の大切さを学ぶ食育の取り組みを行っています。借りている妙伝寺の畑では春に玉ねぎ、秋にさつまいもを育て、皆んなで収穫しています。今年の玉ねぎの収穫は5月17日（土）に行いました。

雨が降るあいにくの天気でしたが、子どもたちは一生懸命玉ねぎ掘りを頑張ってくれました。

そして、6月22日（日）には子どもたちが楽しみにしていたカレーパーティーをコミセンで開きました。参加した子どもたちは45人、保護者やスタッフを加えると70人が集まる大盛況でした。まずはコミセンの集会室で塩治小学校放課後児童クラブ代表の奈良井文子さんの指導で、じゃんけんゲームやふうせん取りなど、室内ゲームで遊びます。集会室いっぱい走り回る子どもたちに笑顔と歓声が溢れます。

調理室ではボランティアのみなさんがカレーづくりに大忙しです。普通のチキンカレーに加え、イスラム教の人が食べられるカレーも用意しました。イスラム教の教えに沿った食材や調理法に従う必要があり、今回用意したカレーはさつまいも、ココナツミルクなどを使ったスパイスカレーにしました。

子どもたちも食事会場にテーブルと椅子を並べたり、配膳を手伝いました。また、小さなシェフさんは、カレーの付け合せのナスとズッキーニを切ったり、炒めてくれました。

「合掌、いただきます！」体をいっぱい動かした後に、友だちや保護者の方と食べるカレーは格別でしょう。「カレーは大好きだ！」「桃のデザートがおい

しかったー！」「カレーをお代わりしたよ！」沢山用意したカレーも余さずなくなりました。

子ども達の満足そうな笑顔を見ると、食育の取り組みは、実際に子どもが苗を植え、収穫し、料理し、食べてみるまでを実体験させることがとても大切だということ。

大盛会だったカレーパーティー、社協スタッフだけでは運営ができません。とくにカレーの調理に協力いただいた平尾庸子さん、杉原弘江さん、深田悦子さんに深く感謝いたします。

（青少年育成部 布野達也）



令和7年度 第一回評議員会開催 ～ぬくもりのある手づくりの福祉のまちづくり～

4月24日(木)、塩冶地区社会福祉協議会の評議員会が開催され、昨年度の事業報告と決算、新年度の事業計画や予算案等が審議、承認されました。

塩冶社協の運営において、社協役員が年々減り、慢性的に欠員が生じています。各区域選出の理事定数は34人ですが、実際には21人しかいません。そのため、今年から6つの専門部を4つの部体制に圧縮して運用せざるを得ない状況になっています。これは町内会加入率が原因の一つではないかと思われ、出雲市全体でも町内会加入率は低下し、塩冶地区では30%を切る厳しい状況であると聞いています。

地域で安心して気持ちよく暮らしていくためにも、町内会という社会基盤の意義についてみんなで考えていきたいものです。

このような状況を踏まえ、塩冶社協は、「ぬくもりのある手づくりの福祉のまちづくり」を基本目標に、地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉及び子育て・青少年育成を基軸に各種活動を進めてまいります。

各部の活動概要

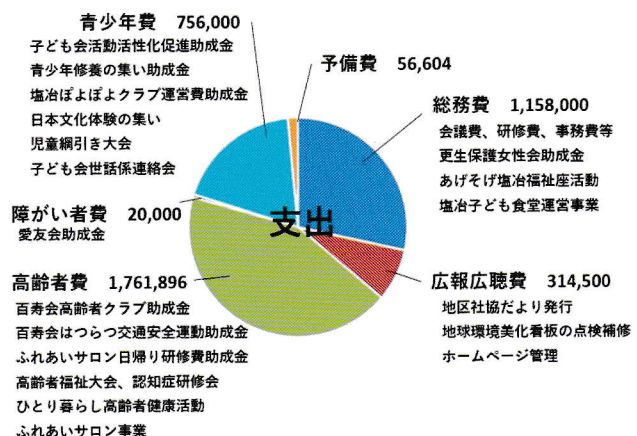
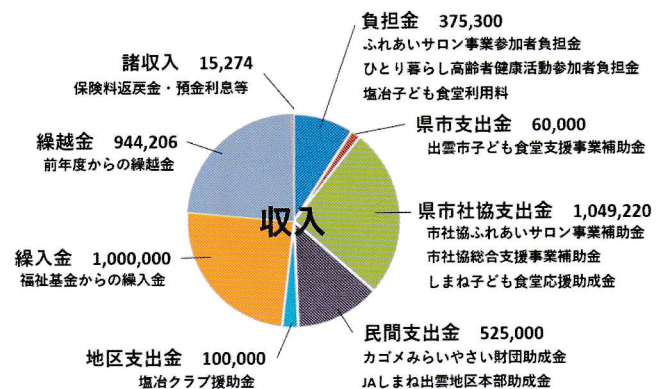
- 企画部・総務部
理事会の運営、あげそげ塩冶福祉座の活動支援
塩冶子ども食堂の運営、認知症研修等の開催
- 広報広聴部
機関誌発行、美化看板の点検、ホームページの管理
- 高齢者福祉部・障がい者福祉部
高齢者福祉大会、ひとり暮らし高齢者健康活動
身体障がい者団体との意見交換
- 青少年育成部
児童綱引き大会、日本文化体験の集い
- 各地域でのふれあいサロン事業の開催

塩冶社協の事業財源は、香典返しなどの寄附金、参加者負担金、県・市、県・市社協、民間からの補助金や助成金等です。限られた貴重な財源を有効に活用するためにも、地区諸団体と協働し、住民が主役を基本に、地域福祉の増進に努めてまいります。



塩冶地区社会福祉協議会

令和7年度予算額 4,069,000 円



<令和7年度 塩冶地区社会福祉協議会役員名簿>

※下線は今年度新任の理事

会 長 中尾 一彦 副会長 周藤 祥三
幹 事 (中天神)佐藤 真澄 (揚東)錦織二三枝 (北天神)曾田美和子
理 事 (菅沢)古瀬 勝彦 (菅沢)永瀬 弘之 (半分)矢田 彩子 (半分)矢田 繁 (宮松)今岡 豊
(宮松)春日 幸雄 (下沢)土屋 淳 (下沢)安田 和美 (揚西)珍部 高広 (弓原)板倉由美子
(弓原)加田 俊哉 (高西南)布野 達也 (高西南)大賀 幸恵 (高西北)高塚 勝昭 (北天神)松浦 由里
(北天神)加藤道哉 (南天神)谷戸奈緒子 (南天神)渡部正俊
(あげそげ塩冶福祉座) 平尾 庸子 深田 悦子 加藤 幸子 吾郷佐智子 杉原 弘江 藤原登美恵

3地区合同 サロン会

小泉八雲記念館と 月照寺を散策しました

5月29日(木)、天神と大正海上のサロン会、高西さわやクラブの3地区合同30人で松江に出かけました。

訪れたのは、9月に始まる連続テレビ小説「ばけばけ」が話題の小泉八雲記念館と八雲旧居です。展示も妻セツについて、とても詳しく説明してありました。

八雲が松江で過ごしたのは明治23年のわずかに一年間、翌年には熊本の中学校に赴任しています。しかしセツとの結婚や小説「怪談」執筆のヒントを得た地として、とくに松江は印象深かったのでしょう。

次は月照寺、松江藩主の菩提寺で初代直政公や不昧公など9代藩主の墓所があります。みんなで訪れたのは、6代藩主宗衍(むねのぶ)公の墓所です。有名な石亀が祀られており、頭を撫でると長生きできると伝えられています。



最後にクイズ、「八雲とセツは明治29年に結婚しますが、当時はまだ国際結婚が珍しかった時代です。さて、二人の結婚は日本で何番目の国際結婚だったでしょうか？」(答えは191番目) (高西理事 布野達也)

宮松健康体操 サロン会

小泉八雲記念館から 島根県物産館へ

5月29日(木)、少し曇っていましたがお出かけには最良の日となりました。宮松公会堂から20名で、今秋の朝ドラ「ばけばけ」で放映される小泉八雲旧居と記念館へ行きました。旧居・記念館まではゆっくり歩いて10分くらい、足の不自由な人にはタクシーで参加していただきました。館内は観光客で混み合っており、偶然にも天神・高西の人と一緒にびっくりしました。

食事は地ビール館で宮松クラブ持田会長の挨拶の後、ほどよく冷えたビールと地元産の「肉」等のご馳走をいただきました。「美味しいね」みなさんの楽しそうな笑顔がとても印象に残りました。



食事後は最近リニューアルした島根県物産館へ。島根の名産名物がたくさん置いてあり、皆さんお土産をたくさん買ってバスに帰りました。

近くに居ながらめったに会わない人もいて、一緒に楽しい時間が共有できた事、とても良かったと思います。参加した皆さまから、「行くのやめようと思ったけど、行って良かった。やっぱ、出られる時出た方がいいね。」「普段会えない人とおしゃべり出来て良かった。」「いったくさんの声をいただきました。」(宮松理事 杉原弘江)

揚 東 サロン会

ヨシ笛と懐かしのメロディ 足指力の測定

6月14日(土)、塩冶コミセンで29名の参加により、湖風音(こぶね)の会による「ヨシ笛」(琵琶湖のヨシで作った笛)演奏会を開きました。

ヨシ笛の素朴で優しい音色に癒されながら懐かしい唱歌と一緒に唄いました。



後半は塩冶地区担当の吉田保健師に「足指力」を測定していただきました。足指の力は、足の筋肉と大きく関係し、歩行バランス(転倒リスク)に反映されるそうです。足指のストレッチ、トレーニング(グーパー運動、タオルギャザリング)も教わりました。

昼食も話が弾み、心身共にリフレッシュしたサロン会になりました。(揚東理事 錦織二三枝)

足指力 (そくしりょく) とは？



- 足の指で地面を掴む力、足の握力のことです。
- 足指力を鍛えることで歩行の安定に効果があり、足指じゃんけんや足指でボールを掴むといった簡単な運動で鍛えることが出来ます！

ご寄贈御礼

このたび、次のみなさま方から塩冶地区社会福祉協議会に対し、香典返し及びご寄附をいただきました。

ご厚志に深く感謝いたしますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。浄財は、塩冶地区の福祉事業のために使わせていただきます。

今後とも、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

(3月1日から6月30日まで) 敬称略

香典返し

寄附者名 故人名 住所・区域名 寄附金額

篤志寄附

寄附者名 住所・区域名 寄附金額 趣旨

※ 掲載欄の — は、掲載を希望されない方

子ども食堂へのご寄贈御礼

このたび、次のみなさま方から子ども食堂へご寄附をいただき、心よりお礼を申し上げます。今後ともご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。

寄附者名 品名 住所・区域名



塩冶みんなの子ども食堂

今年度も「こどもも おせも じーじも ばーばもみんなが集う塩冶子ども食堂」を運営しています。

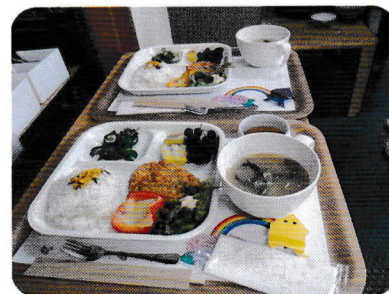
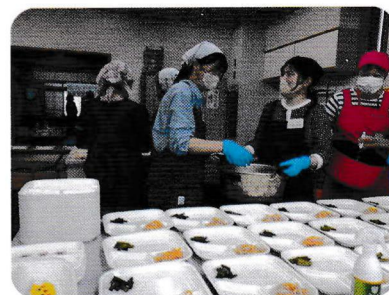
提供する食事のメニューとレシピは専門家をお願いして準備をしています。

また実際に食事を作るには買い物や下準備、当日の調理や片付けといろいろな作業がありますが、社協や民児協、百寿会等の団体や地域の大学生といった、いろいろなボランティアの献身的な協力があって、なんとか運営出来ています。

月1回の開催ですが、毎回たくさんの人たちに利用いただいています。

おかげさまで、「美味しかった!」「また来ます!」といった声をいただくことが、スタッフの励みにもなっています。

手作りの温かい食事をみんなでいっしょに、楽しい時間を過ごしましょう!



「塩冶みんなの子ども食堂」に是非来てみてください。

- 毎月第3日曜日 11時15分～13時15分
- 参加費 子ども(18歳未満) 無料
大人 200円 高齢者(65歳以上) 100円



※申込書は塩冶コミセンにあります。また塩冶社協ホームページにも掲載していますので、お使いください。

***** 編集後記 *****

社協の理事が減少してます。自治会の加入率も減少し、同様に役員の数も少なくなってます。役員をするくらいなら脱退する人や町もあります。仕事や家庭とボランティアを両立するのは難しく、そうした事情もよくわかります。しかし、あるフレーズを思い出します。「できる出来ないより動けば町が元気になる」の通り、人まかせにするのではなく、「よし、やってみよう!」という方はぜひ参加して下さい。やってみれば楽しく充実した気持ちになりますよ!

(理事 珍部高広)

この地区社協便りは、「出雲市社会福祉協議会の会費、寄付金、共同募金を財源とした助成金」を財源の一部としています。